

明治三十九年七月二日

書記官長 閣下

主筆 書記官

書記官

長



日本加奈陀間ノ通商ニ関スル條約

御批准ノ件 審査報告

謹了今回御諮詢ノ日本加奈陀間ノ通商ニ関ス

ル條約御批准ノ件ヲ審査スルニ加奈陀ハ日英通

區

密

宛

高麗海條約第十九條。依り同條約批准交換ノ日ヲ

二箇年以内ニ同條約ニ加テスルコトヲ得ルニテ當時同國

ハ最善四條ノ款ノ規定アル條約ニ加テセルノ方針ナリ

シテ以テ帝國ヨリ加テテ勸誘シタルニモ拘ラス遂ニ期限

内ニ其ノ加テテ見ルニ至ラザリシモ其後兩國間ノ通商

繁劇ヲ加ヘ商品ノ輸出ノ額大ニ増加シテ協定税率ニ

依ルコトヲ得サルノ不便ヲ感知スルニ至リ遂ニ昨年十月ヲ以

テ何等ノ條件ヲ付セズ日英條約ヲ兩國間ニ適用スルノ條

約ヲ締結セムトノ希望ヲ申出テ協議ノ結果茲ニ本條

約ヲ締結スルニ至リタルモノニシテ大體ニ於テ時宜ニ適

ニタルモノト認ル而シテ第三條ニ於テ條約有効ノ期間ヲ終

盟國ノ條約終了ノ意思ヲ發表スル日ヨリ六箇月ヲ為

ニタルハ曰英條約ニ於テ十二箇月ト為ニルニ比シテ解款上

之ヲ十二箇月トシ且ツ條約盟國ノ意思ヲ發表スル日ヨリ

多少ノ感ヲ生セムル嫌アルカ如シト雖モ實際上ノ手續

ニ於テハ可成同時ニ終ルヤセムルコトトモ思フ蓋シ條約盟

國ニ於テ日英條約ヨリモ速カニ之ヲ終ルセシムルコトトモ

ハ其ノ手段ヲ探リ得ルノ餘地ヲ存シタルモノナリトコトニ付

此ノ解釋ヲ以テ本案ヲ可決セラレ然ルヘシト思料ス

右得ニテ審査ノ結果ヲ報告ス

年月日

書記官長

後長宛

明治三十三年七月七日

書記官長 都筑

主筆書記官

英

書記官

明治三十三年勅令第九号改正件

審査報告

謹今御諮詢明治三十三年勅

令第九号改正件之審査之結果

長河縣委員長、鉦衝之任に用せら